

まごころ
“丹の里” まちづくり計画

丹波市都市計画マスタープラン

概 要 版

令和4年9月改定

丹 波 市



都市計画マスタープランとは（基本的事項）

<都市計画マスタープラン改定の背景と役割>

- 丹波市のみならず我が国全体が、従来の人口増加と都市の拡大を基調とした都市化社会から、安定・成熟した都市型社会へと移行し、特に地方都市や中山間部では、少子高齢化の一層の進展により、本格的な人口減少社会を迎えています。また、自然災害の頻発、地球環境問題の深刻化、経済のグローバル化などが進展し、SDGsや脱炭素、DXなど新たな社会潮流への対応が求められるようになりました。さらには2019年以降の新型コロナウイルスの影響などにより、人々の価値観やライフスタイル、働き方、地域経済に大きな変化が生じています。
- 当初計画の策定後10年を迎え、上位・関連計画の改定や社会経済状況の変化などを踏まえ、本市が都市経営と暮らしの両面から持続的なまちづくりを実現していくために、都市計画マスタープラン（“丹の里”まちづくり計画）の改定を行います。

都市計画マスタープランが担う役割

- ① まちづくりの基本理念、都市の将来像を明確にします。
- ② 主要な土地利用の規制と誘導や都市施設の将来のおおむねの配置や整備方針などを示します。
- ③ 都市づくりや地域づくりの課題を市民と共有し、協働でまちづくりに取り組むための指針とします。
- ④ 都市計画に関連する施策や事業を総合的かつ体系的に展開していくための指針とします。

<計画の位置づけ>

- 都市計画マスタープランは、本市の最上位の計画である「第2次丹波市総合計画」並びに兵庫県が定める「丹波都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」（丹波地域都市計画区域マスタープラン）に即して定めると共に、「丹（まごころ）の里創生総合戦略」、「丹波市人口ビジョン」及び「丹波市まちづくりビジョン」と調整・整合を図ります。
- 本計画に基づいて、都市基盤整備や地域づくり事業など、都市づくりを推進していきます。

<計画の構成>

- 本計画は、「全体構想編」、「地域別構想編」、「実現化方策編」で構成します。

<目標年次>

- 2022年度から、概ね20年後の都市の姿を展望しながら、2031年度を目標年次とします。
※本市を取り巻く社会経済情勢の変化や、丹波市総合計画、都市計画区域の整備、開発及び保全の方針の改定などにより、必要に応じて見直しを行うものとします。

<改定の重要なポイント>

① 「丹波市まちづくりビジョン」との整合性

- ・「丹波市まちづくりビジョン」との整合性をもって、都市構造や都市づくりの方針を改定。

② 安全・安心なまちづくりの推進

- ・安全・安心なまちづくりを都市計画の面からも推進することを重視して改定。

③ 丹波市らしいふるさとの原風景の維持・創造

- ・自然エネルギー普及の重要性とバランスを取りつつ、周辺環境と調和した土地利用や景観の維持・創造を図る観点を重視して改定。

④ 持続的な都市づくりの継続

- ・持続可能な都市づくりに向けた理念は前計画から継承し、まちづくりビジョンとの整合性を踏まえて、さらに発展させたものとして改定。

都市の将来像

<丹波市総合計画が示す都市の将来像>

『人と人、人と自然の創造的交流都市』 ～みんなでつなぐ丹（まごころ）の里～

<丹波市まちづくりビジョンが示すまちづくりの方向性>

第1の方向性

市の中心部に都市機能の一定の集積を進める都市デザイン

持続的に発展し続けることができる丹波市を築くために、市中心部への都市機能（行政・商業・医療福祉・文化芸術・観光など）の一定の集積により、都市としての機能の強化を図り、全市的な都市サービスを効率的に提供できるまちづくりを進めます。

第2の方向性

住み慣れた地域に住み続ける生活スタイル

都市機能の一定の集積を進める中であっても、市民が生まれ育った地域において、文化、風土、人のつながり、豊かな自然を大切にしながら、生きがいと生業を持って暮らし続けることができる、あるいは、自然との触れ合いなどを求める人が移住したくなるよう、市民生活に直結した生活サービスの維持・向上と、居住場所に限らず集積された都市機能サービスを誰もが享受できるまちづくりを進めます。

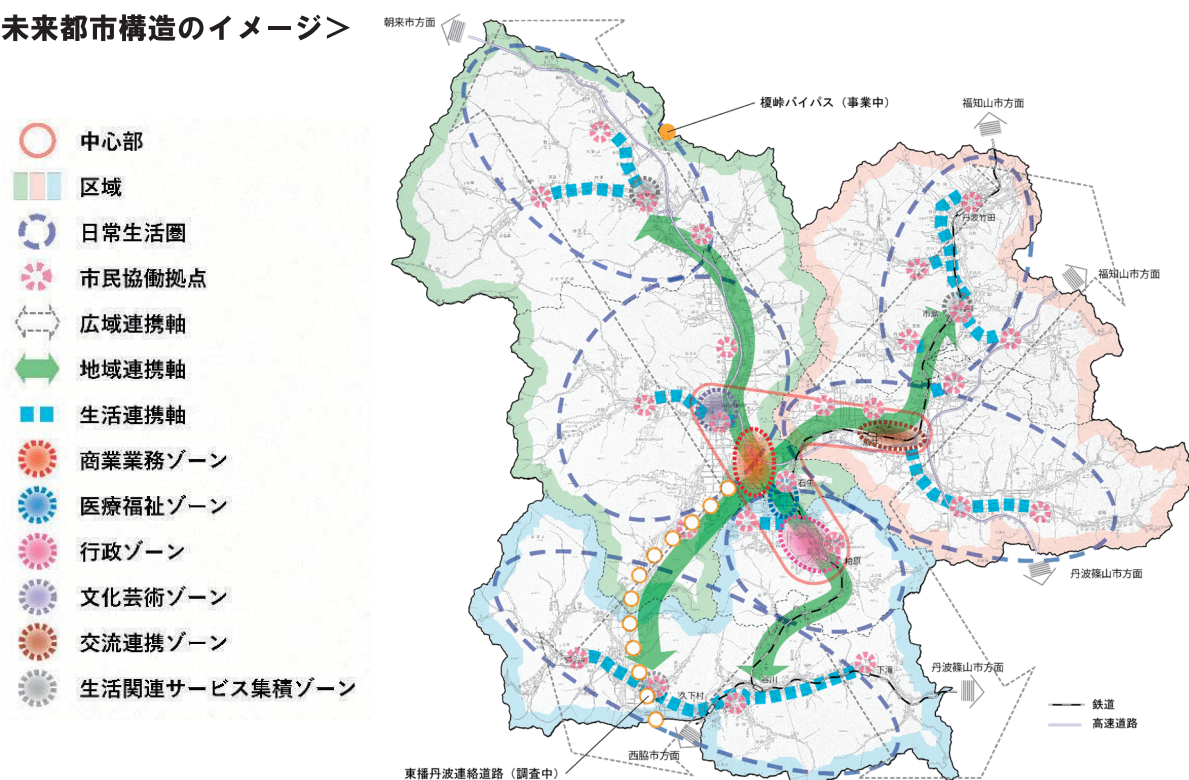
将来の都市構造

第2次丹波市総合計画（後期基本計画）において、「丹波市まちづくりビジョン」に基づく新しい都市構造（未来都市構造）を位置付けています。本計画においてもこれを目指すものとします。

<都市機能配置の階層性の考え方>

都市機能の配置として、中心部には全市的で高度な都市機能の一定の集積を図り、3つの区域では全市的な都市機能を補完し区域範囲における都市機能の維持を図ります。さらに中心部と3つの区域あるいは地域や地区及び各集落等を交通ネットワークで結びます。

<未来都市構造のイメージ>



都市づくりの目標

① 参画と協働によるまちづくり

人口減少と少子高齢化の進展、自治体財政のさらなる逼迫などに対し、多様な主体が参画・協働する市民主体のまちを目指します。また、都市基盤施設については維持管理・更新を重視し、効率的・効果的な公共投資を図るとともに、公共施設などの計画的な統廃合に取り組みます。

広域的な課題（救急医療、防災など）については、兵庫県及び近隣市町並びに各種団体や事業者などとの広域的な連携のもと対応を図ります。



② 自然環境と共生するまちづくり

丹波市の重要産業である農林業の取組や多様な主体の参画する保全活動等を通じて、森や川の豊かな自然環境が大切に守り継承され、さらに市民も環境に配慮した生活を営む、源流域にふさわしいまちを目指します。

市民一人ひとりが日常的に、ごみの減量化・再資源化に努め、建築物や交通手段においても、脱炭素・省エネルギーを意識したライフスタイルが定着し、環境と共生するまちを目指します。



③ 丹波市らしい景観づくり

丹波の森構想の理念を継承し、山並に囲まれて続く谷筋や盆地を骨格として、川、農地、集落、まち、木々など、人と自然の営みの中、森と田園と集落が調和した景観を守り継承し、地域の魅力として観光・交流の源泉となっているまちを目指します。

また、鉄道駅やインターチェンジ周辺、幹線道路沿道などでは、「丹波らしさ」を守りつつ、にぎわいの中にも秩序のある都市景観が形成されるまちを目指します。



④ 安全・安心なまちづくり

自然災害に備え、治山・治水事業、急傾斜地対策を行うとともに、市街地や集落内においては、災害時の避難・救急活動などに配慮した基盤整備を進め、安全・安心なまちを目指します。あわせて、建物の耐震化及び不燃化による地震・火災に対する予防推進をはじめ、市民一人ひとりの防災意識の向上と地域での自主防災組織の確立など、自助・共助・公助の役割をそれぞれが理解し、バランス良く連携した災害に強いまちを目指します。

また、子どもたちが安心して通学できるよう交通安全対策に取り組むとともに、ユニバーサル社会の実現に向けて、公共施設や交通結節点などのバリアフリー化を進め、高齢者や障がい者など誰もが安心して暮らし続けられるまちを目指します。



⑤ 観光・交流のまちづくり

舞鶴若狭自動車道・北近畿豊岡自動車道などの広域交通網を生かして、市内に点在する様々な観光資源を積極的に活用し、ネットワーク化を図ることにより、観光・交流のまちづくりを進めます。また、『都市に近い田舎』という特徴を生かして、本市の重要産業である農林業を地域資源に位置付けた観光・交流の取り組み、さらには広域的な観光振興や多様な都市との交流を進め、地域経済への波及効果も期待できる魅力的な観光・交流のまちを目指します。



⑥ 公共交通が充実したまちづくり

デマンド（予約）型乗合タクシーの利活用を促進するとともに、路線バスや鉄道などの各公共交通機関と連携し、地域の実情に応じた交通のシームレス化に取り組むなど、更なる利便性の向上と持続可能な交通ネットワークの構築を図り、高齢者や観光客を含めた全ての人が安心して円滑に移動できるまちを目指します。



⑦ 身近な歴史・文化を生かし創造性のあるまちづくり

城下町や宿場町などの歴史的な町並みや史跡、寺社などの地域固有の歴史・文化を保全し継承し活用していくことで、地域コミュニティを活性化させ、まちへの誇りや愛着・定住志向を育む個性的なまちを目指します。

また、本市の特性を生かしつつ新たな文化創造を促進するなど、未来に向けた創造性の感じられるまちを目指します。



⑧ 都市機能・生活サービス機能が充実した移住定住のまちづくり

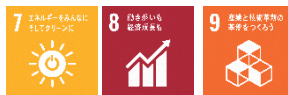
市の中心部では商業・業務・文化・観光など多様な都市機能による利便性が享受できるとともに、住み慣れた地域においても生活サービス機能が確保され、安心して住み続けられるまちを目指します。

また、豊かな地域コミュニティの中で暮らしを支え合う関係が育成され、安心して暮らし続けられる、移住定住環境のまちを目指します。



⑨ 産業活力を高めるまちづくり

舞鶴若狭自動車道・北近畿豊岡自動車道など恵まれた広域交通網により、京阪神地域や山陰地域、北陸地域を結ぶ交通結節点の機能を生かして、企業誘致や産業活動の活性化、起業・創業支援、リモートワークやワーケーション等の誘致などの多様な取り組みを進め、住環境との調和のもと、働く場の確保や地域経済循環の拡大など産業活力の感じられるまちを目指します。



都市づくりの方針

1 土地利用及び市街地整備の方針

<基本的な方向性>

- ① 丹波市都市圏の中心部を構成する中心拠点の都市機能の充実・強化
- ② 中心部を補完し、区域の暮らしを支える区域拠点の生活サービス機能の維持・充実
- ③ 定住環境にふさわしい、安全・安心で快適な住環境の形成
- ④ 地域環境の保全と活性化を両立するための無秩序な開発の防止と計画的な土地利用の推進
- ⑤ 丹波市らしさを醸し出す自然・田園環境の保全・活用

中心拠点

(稲継交差点周辺、氷上町成松周辺、
柏原町柏原周辺、JR石生駅周辺、
春日町黒井周辺の既成市街地)

本市の中心部を構成する拠点市街地

広域交通網を生かした商業・産業・観光・交流などの各種都市機能の充実・強化
市民活動の支援拠点やテレワーク等を伴う移住のための環境整備、通信インフラ整備
などの推進

工業拠点

企業誘致施策との連携のもと、工業拠点としての土地利用の促進
新たな立地用地の形成や既存事業所の拡充の支援を検討

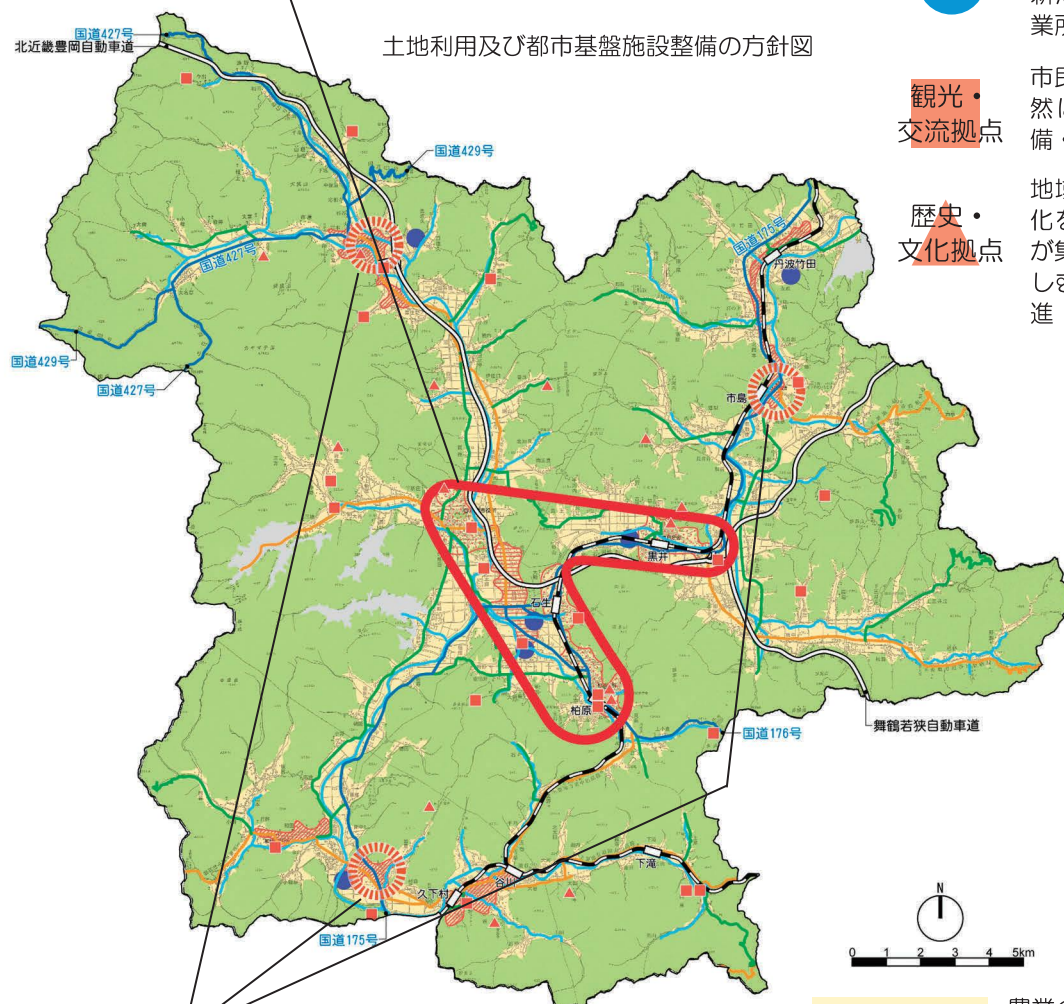
観光・交流拠点

市民や観光客が憩い、交流し、自然にふれられる場としての整備・活用を促進

歴史・文化拠点

地域に継承されている歴史・文化を保全しつつ、市民や観光客が集い、交流し、歴史・文化に親しむ場としての整備・活用を促進

土地利用及び都市基盤施設整備の方針図



中心拠点	
区域拠点	
広域商業・サービス系市街地	
住商複合市街地	
住商複合・交流系市街地	
住居系市街地	
工業拠点	
観光・交流拠点	
歴史・文化拠点	
集落・田園地区	
森林地区	
緑豊かな環境形成地区	
境界線	
広域幹線道路	
広域幹線道路(計画)	
地域幹線道路	
地域幹線道路(計画)	
鉄道	
河川	

区域拠点

(青垣町佐治周辺、
山南町井原周辺、
市島町上田・市島
周辺の既成市街地)

中心部を補完する3つの区域の拠点
となる住居系市街地

日常生活に必要な行政窓口機能や買い物・医療・福祉等の生活サービス機能の維持・充実

集落・田園地区

農業の営みを通じた農地の保全、農村環境の維持・改善、地域コミュニティの育成などを促進

森林地区

丹波市らしい風景形成や自然環境保全、森林としての多面的機能の保全

1 土地利用及び市街地整備の方針（続き）

<基本的な方向性>

<中心拠点と区域拠点の基本方針>

【中心拠点】

- 稲継交差点周辺の市街地（広域商業・サービス系市街地）
 - ・全市的な生活利便機能の充実、強化
 - ・良好な住居系市街地
 - ・工業地区の計画的な土地利用の促進 等
- 成松及び柏原の既成市街地（住商複合市街地）
 - ・地域の日常生活の利便性を支える拠点市街地としての充実
 - ・公共的サービス機能が充実した市街地の形成 等
- JR石生駅周辺の既成市街地（住商複合市街地）
 - ・良好な住環境の整備や沿道での生活サービス施設などの誘導
 - ・医療福祉関連機能の集積 等
- 黒井周辺の既成市街地（住商複合・交流系市街地）
 - ・交流機能や産業機能の強化
 - ・日常的な生活サービス機能の維持・充実 等

【区域拠点】（中心部を補完する区域の拠点）

- 青垣町佐治周辺
 - ・旧来からの商店街や県道青垣柏原線沿道の生活サービス機能の維持
 - ・大学などとの連携や市民参加による地域活性化の取り組み推進 等
- 山南町井原周辺
 - ・国道 175 号沿道や井原交差点周辺の生活サービス機能の維持
 - ・谷川や和田などの公共公益機能や利便機能との補完や連携に配慮した機能配置 等
- 市島町上田・市島周辺
 - ・国道175号沿道の生活サービス機能の維持
 - ・JR市島駅の交通利便性を生かした住居系市街地の形成 等
- その他の既成市街地
 - ・山南町谷川周辺、山南町和田周辺、JR丹波竹田駅周辺の既成市街地における住環境の保全と育成の促進による良好な住居系市街地の形成

2 都市基盤施設整備の方針

<基本的な方向性>

- ① 丹波市都市圏の生活・産業・交流・安全などを支える、広域的な幹線道路網の体系的な整備
- ② 安全・安心に暮らし続けられる、生活道路の整備・維持管理
- ③ 高齢社会において日常生活を支える公共交通の維持・充実・利便性向上
- ④ 上下水道施設などの社会基盤施設の計画的で適切な長寿命化、維持管理・更新
- ⑤ 源流域のまちにふさわしい、安全で環境と調和した水環境の形成

【道路の整備】

- 広域軸（広域幹線道路）
 - ・高規格幹線道路網及び国道 175 号・176 号の機能の維持向上
 - ・東播丹波連絡道路（調査中）の早期事業化
- 地域軸（地域幹線道路）
 - ・「兵庫県社会基盤整備プログラム」及び「丹波市道路整備計画」並びに「国土強靱化丹波市地域計画」に即した体系的・計画的な整備
 - ・整備効果の発現や相乗効果が期待される箇所や路線を優先的に整備
 - ・地区内の交通を集積させ、幹線道路へのアクセス性が向上する効果が見込まれる補助幹線道路の整備
 - ・鉄道駅やバス停及びその周辺の公共公益施設などを結び主な道路のバリアフリー化
- 生活道路
 - ・市街地や集落内の幅員の狭い道路について、必要性や優先度を踏まえた整備
 - ・通学路などにおける歩行者の安全性確保

【公共交通及び交通結節機能の整備】

- 鉄道の利便性向上（鉄道事業者と連携）
 - ・JR 福知山線の機能強化
 - ・JR 加古川線の利便性の向上や利用増進
- 地域交通の利便性向上
 - ・路線バスの利便性向上
 - ・デマンド（予約）型乗合タクシーの利活用の促進及び各交通機関との連携強化
 - ・新たな交通手段の導入及びそれに適した道路交通インフラ整備のあり方の研究
- 交通結節点機能の充実
 - ・公共交通相互の交通結節点機能の強化
 - ・自転車の利用しやすい交通環境の整備、駐輪施設の設置誘導
- 広域交通網による他都市との交流連携
 - ・交通ネットワークを活用した交流連携強化

【上下水道・河川】

- ・上水道、生活排水処理施設の計画的な維持管理及び更新
- ・河川の効率的かつ効果的な維持管理及び改修並びに雨水総合管理計画に基づく施設整備

3 安全・安心なまちづくりの方針

<基本的な方向性>

- ① 体系的な防災基盤の整備
- ② 総合的な取り組みによる安全・安心のまちづくり

【防災基盤】

- ・山林の路網整備や間伐などの森林整備、混交林化などの森林環境整備、治水・治山事業や県による急傾斜地崩壊対策事業の推進連携
- ・農地の無秩序な市街化や開発の抑制
- ・雨水管理総合計画に基づく河川や水路の計画的な整備や農業生産基盤の保全活用、森林の保全整備などによる総合的な治水機能の強化
- ・丹波市地域防災計画に基づく防災拠点や避難所、緊急輸送路網、救援物資の確保などの体系的な整備及び適切な維持管理
- ・電気、上下水道等の供給施設や道路、鉄道、情報通信施設等のライフラインの耐震性の強化推進

【まちの安全性】

- ・建築物等の耐震化を推進
- ・まちなかにおける幅員の狭い道路の拡幅整備
- ・避難所等となる公共施設の計画的な耐震化
- ・土砂災害等の危険な区域での開発行為の規制・誘導

【自主防災・自主防犯】

- ・防災マップなどによる情報の周知と防災意識の高揚、自主防災組織の組織化促進や支援
- ・浸水想定区域や土砂災害警戒区域内の社会福祉施設などの要配慮者利用施設について、避難確保計画の作成及び避難訓練の実施の支援

【広域連携】

- ・近隣自治体や関係団体等との災害時相互応援協定に基づく支援要請及び連携強化

4 自然環境の保全・活用と都市環境形成の方針

<基本的な方向性>

- ① 豊かな森と水に恵まれた、丹波市らしい自然環境の保全・活用
- ② 都市の魅力を高める、水と緑のネットワークの形成
- ③ 生活環境の質を高める、まちなかの緑化の推進

【自然環境の保全・活用】

- ・災害に強い水源の森林、持続可能な森林経営、協働による森林づくり
- ・木質バイオマスの利活用、木の駅プロジェクトの推進
- ・美しい河川環境の保全、生物など自然環境の再生、潤いある景観形成
- ・「氷上回廊水分れフィールドミュージアム」の取り組みや、「恐竜の里づくり」を推進
- ・グリーン・ツーリズム、都市農村交流、子どもが自然の中で遊び成長する場や機会の提供

【公園・緑地等】

- ・公園的施設の適正配置を考慮した公園・緑地などの維持管理
- ・ユニバーサルデザインと子ども・子育て目線を重視した公園機能の充実
- ・水と緑のネットワークの形成を推進
- ・「新しい生活様式」に対応した利活用の促進

【緑化】

- ・各種公共施設や沿道の緑化
- ・民有地の緑化や花づくり活動の促進

5 景観形成の方針

<基本的な方向性>

- ① 丹波の森構想における景観の継承
- ② 丹波市らしさをアピールする良好な市街地景観の創出
- ③ 地域ごとの景観資源を生かした個性的なまちづくりの推進

【丹波市らしい森林・河川・田園景観】

- ・季節感の感じられる美しい森づくり
- ・親水性の向上と豊かな田園景観の継承

【景観資源】

- ・歴史・文化資源や地域資源を活用したまちづくり

【市街地・沿道景観】

- ・県の景観条例や屋外広告物条例等の適正な運用
- ・多様な主体による協働のもと個性豊かな景観形成の推進

地域別構想

柏原地域

【まちづくりの将来像】

城下町の歴史・文化を生かした
にぎわいと交流のまち 柏原

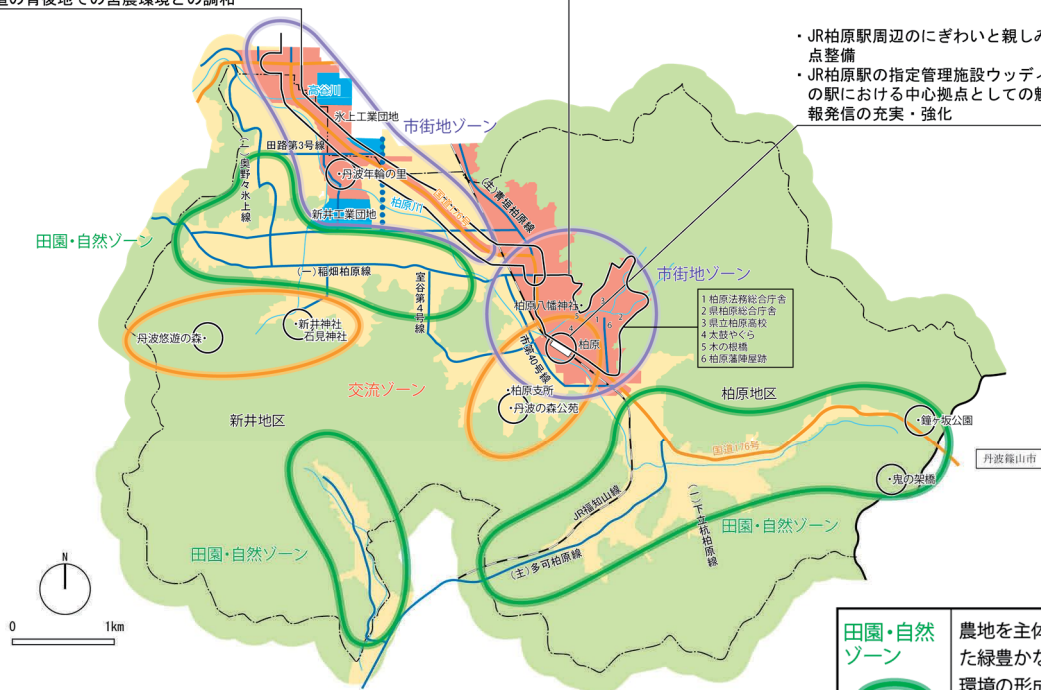
- ・国道176号沿道の商業・業務施設の集積の誘導
- ・特定用途制限地域による無秩序な土地利用や景観的な混乱の防止と商業機能等の誘導
- ・沿道の背後地での営農環境との調和

- ・城下町と町並みを活かした景観形成
- ・中心市街地活性化や観光等と連携した交流の促進
- ・既存行政施設との連携強化及び公共的サービス機能の充実

- ・JR柏原駅周辺のにぎわいと親しみのある拠点整備
- ・JR柏原駅の指定管理施設ウディプラザ山の駅における中心拠点としての魅力及び情報発信の充実・強化

【目標】

- ①城下町の歴史・文化を生かしたまちづくり
- ②丹波市都市圏の中心拠点づくり
- ③市街地と農村が共存した安心して暮らせるまちづくり
- ④柏原・新井地区連携のまちづくり



田園・自然
ゾーン



市街地
ゾーン



交流
ゾーン



農地を主体とした緑豊かな田園環境の形成を図るゾーン

商業・産業・公共公益機能などの都市機能の集積を図るゾーン

地域資源を活用して交流やにぎわいを創出するゾーン

市街地	
工業拠点	
集落・田園地区	
森林地区	
自然公園地域	

広域幹線道路	
広域幹線道路(計画)	
地域幹線道路	
地域幹線道路(計画)	
鉄道	
河川	
校区界	

氷上地域

【まちづくりの将来像】

広域の商業・サービス機能を生かし
活力を育むまち 氷上

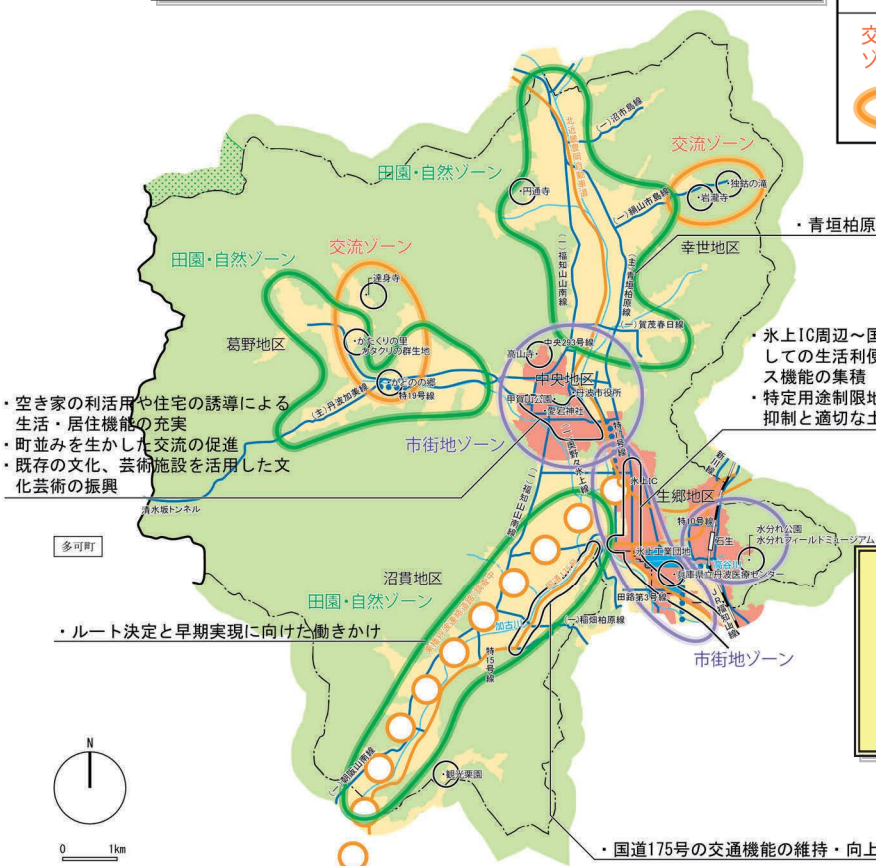
- ・空き家の活用や住宅の誘導による生活・居住機能の充実
- ・町並みを生かした交流の促進
- ・既存の文化、芸術施設を活用した文化芸術の振興

- ・青垣柏原線の交通機能の維持・向上

- ・氷上IC周辺～国道176号にかけて、市の中心部としての生活利便機能を担う商業・業務・サービス機能の集積
- ・特定用途制限地域による無秩序な市街地の拡大抑制と適切な土地利用の誘導

【目標】

- ①丹波市都市圏の中心拠点づくり
- ②市街地における地域づくり
- ③広域交通・交通結節点機能を生かしたまちづくり
- ④安全・安心で暮らしやすいまちづくり



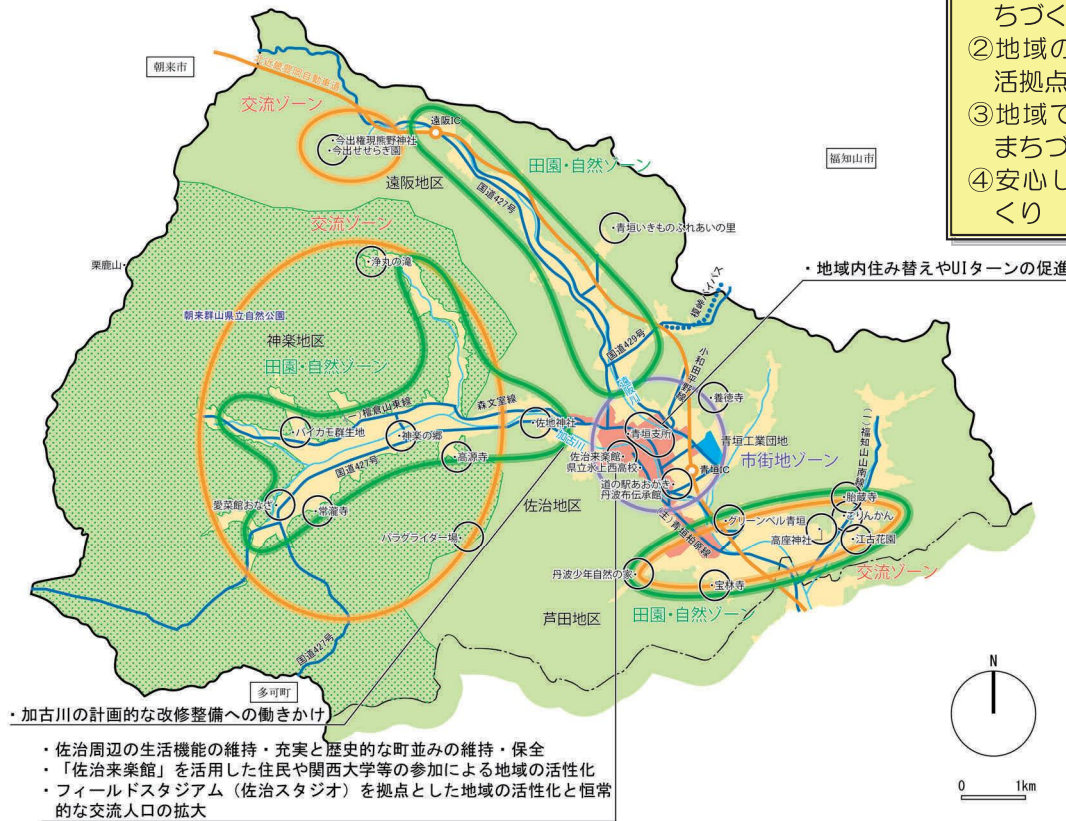
青垣地域

【まちづくりの将来像】

都市農村交流を更に広げ
暮らしを支えあうまち 青垣

【目標】

- ①豊かな自然・地域資源を生かした都市農村交流のまちづくり
- ②地域の暮らしを支える生活拠点づくり
- ③地域で暮らし続けられるまちづくり
- ④安心して暮らせるまちづくり



田園・自然ゾーン	農地を主体とした緑豊かな田園環境の形成を図るゾーン
市街地ゾーン	商業・産業・公共公益機能などの都市機能の集積を図るゾーン
交流ゾーン	地域資源を活用して交流やにぎわいを創出するゾーン

春日地域

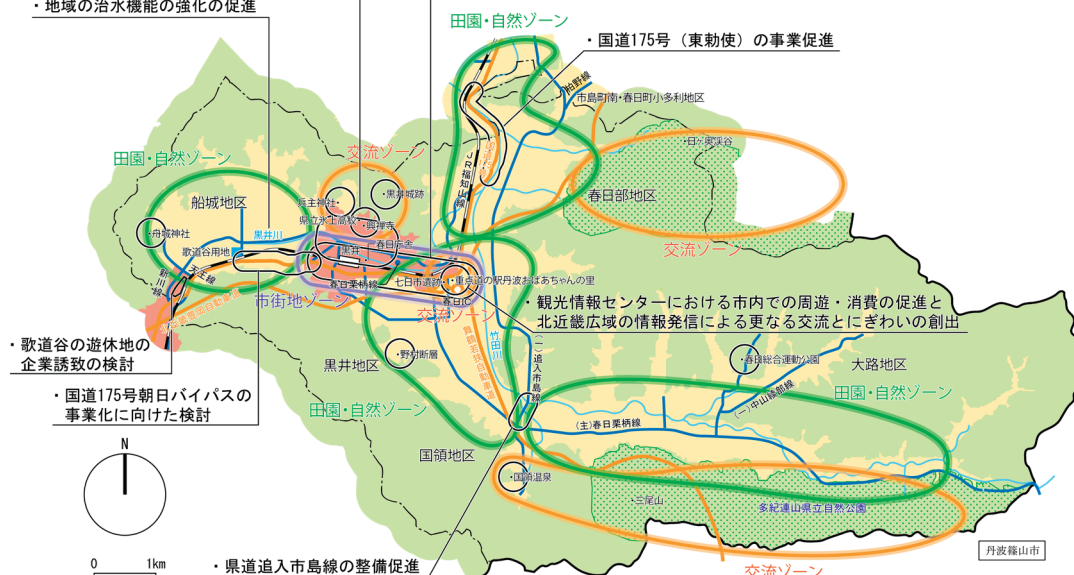
【まちづくりの将来像】

道の駅を起点に
観光・交流から定住を促すまち 春日

・隣接する国道沿道の商業施設等を活かした日常的な生活利便機能の充実・強化の促進

・黒井川改修の整備促進
・地域の治水機能の強化の促進

・春日IC周辺の産業機能や交流機能等の充実・強化
・春日IC周辺から国道175号沿道の計画的な土地利用の誘導、景観の混乱の防止、渋滞対策



市街地	
工業拠点	
集落・田園地区	
森林地区	
自然公園地域	
広域幹線道路	
広域幹線道路（計画）	
地域幹線道路	
地域幹線道路（計画）	
鉄道	
河川	
校区界	

【目標】

- ①広域の交通利便性を生かした中心拠点づくり
- ②地域資源を生かした農業・交流のまちづくり
- ③地域の暮らしを支える生活拠点づくり
- ④安全・安心で暮らしやすいまちづくり

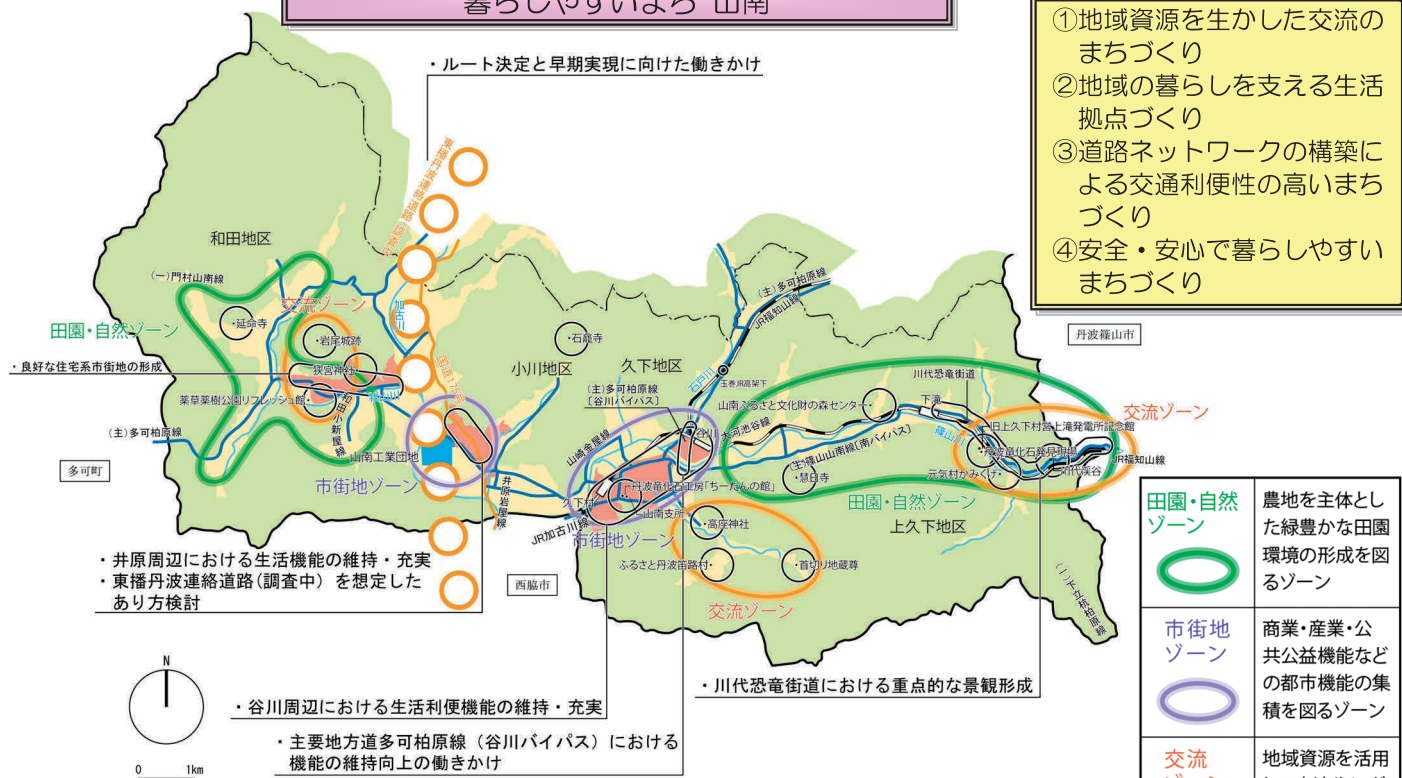
山南地域

【まちづくりの将来像】

産業、伝統技術や恐竜の資源を生かした
暮らしやすいまち 山南

【目標】

- ①地域資源を生かした交流のまちづくり
- ②地域の暮らしを支える生活拠点づくり
- ③道路ネットワークの構築による交通利便性の高いまちづくり
- ④安全・安心で暮らしやすいまちづくり

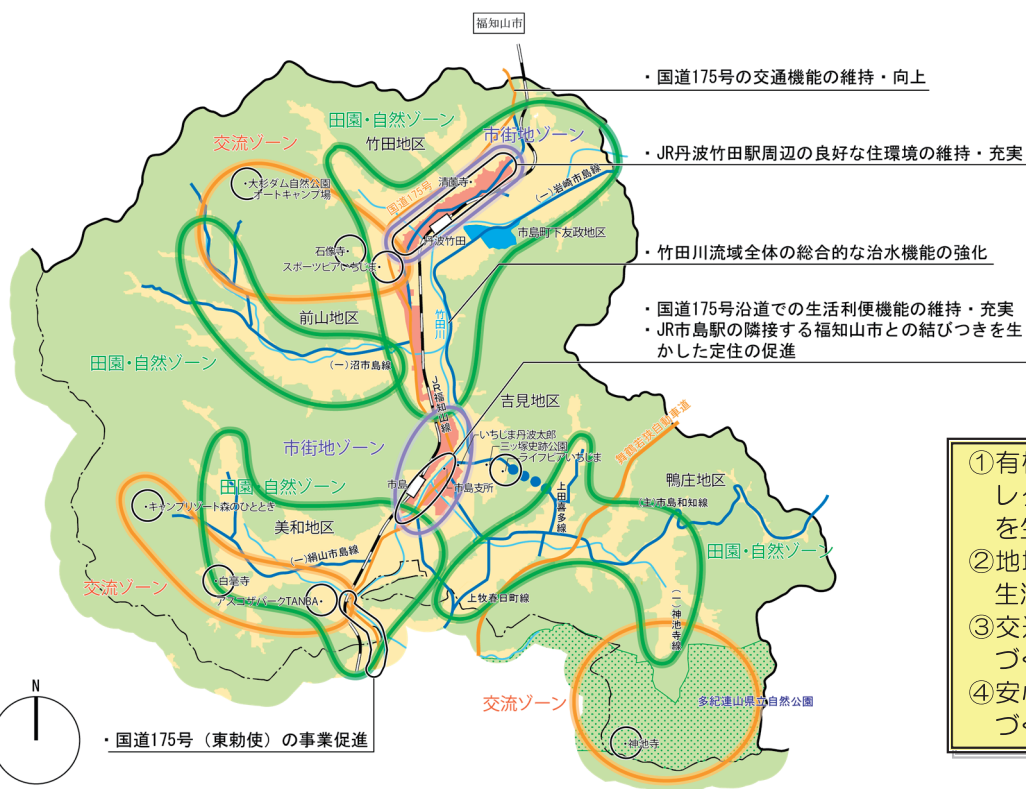


市島地域

【まちづくりの将来像】

有機の里と文化・スポーツ施設を生かし
交流・定住を促すまち 市島

土地利用	市街地	
	工業拠点	
	集落・田園地区	
	森林地区	
	自然公園地域	
	広域幹線道路	
広域幹線道路（計画）		
地域幹線道路		
地域幹線道路（計画）		
鉄道		
河川		
校区界		



【目標】

- ①有機の里やスポーツ・レクリエーション施設を生かしたまちづくり
- ②地域の暮らしを支える生活拠点づくり
- ③交通便利性の高いまちづくり
- ④安心して暮らせるまちづくり

実現化方策

<参画と協働によるまちづくりの推進>

都市づくりの目標の実現に向け、市民や事業者、行政が適切な役割分担のもと相互に連携し、それぞれが主体となる参画と協働によるまちづくりを推進します。

<重点的に取り組む事項>

重点事項	施策・事業の例示	
①中心拠点の都市機能の充実・強化	稲継交差点付近	○用途地域指定の検討 ○特定用途制限地域の活用 ○土地利用計画制度の運用の検討 ○丹波医療センター周辺での市街地整備の誘導、地区計画の検討 ○交通円滑化のための道路整備の推進 ○内水対策など防災機能の充実・強化、安全性の高い民間開発の誘導 ○沿道景観形成に向けた県の景観条例、屋外広告物条例等の適正な運用
	成松市街地	○にぎわいの創出による交流促進及び空き家、空き店舗の利活用の推進 ○老朽木造家屋が集積する地区の安全性向上に向けた方策の検討
	柏原市街地	○歴史資源や景観形成地区指定制度を活用した景観形成の促進 ○中心市街地活性化に向けた取り組みの促進 ○歴史的な町並み保存のための修景及び空き家、空き店舗の利活用の推進 ○老朽木造家屋が集積する地区の安全性向上に向けた方策の検討
	J R石生駅周辺市街地	○水分れや氷上回廊を活用した観光・交流や景観形成の促進 ○良好な市街地環境の維持に向けた地区計画等の検討 ○老朽木造家屋が集積する地区の安全性向上に向けた方策の検討
	黒井市街地、春日IC周辺	○良好な住環境の形成を図るための空き家、空き店舗の利活用の推進 ○老朽木造家屋が集積する地区の安全性向上に向けた方策の検討 ○道の駅の広域交流機能の充実
	中心部の公共交通の利便性向上	○バス路線の充実、路線の新設、乗継連携の強化、待合環境の改善
②区域拠点の生活利便機能の維持・充実	○区域拠点にふさわしい生活サービス機能の維持・充実の誘導、公共公益機能の確保 ○区域拠点と中心拠点とを結ぶ公共交通の維持・充実 ○安全・安心な住環境を形成するための空き家、空き店舗の利活用の推進 ○地域資源を活用した景観形成の推進 ○地域特性に応じた多様な主体の参画や交流活動の促進 ○デマンド（予約）型乗合タクシーと他の交通との乗継連携の強化、待合環境の改善	
③工業拠点の活性化	○新たな立地用地の検討 ○既存工業団地の土地利用調整や緑化・景観形成等の促進 ○産業振興事業の推進	
④広域・地域幹線道路の整備促進	○東播丹波連絡道路のルート決定と早期実現に向けた調査・要望 ○舞鶴若狭自動車道のスマートインターチェンジ設置に向けた検討 ○高速バスの利便性向上の推進 ○道路の拡幅・連携の強化 ○安全な歩行者空間確保のための歩道整備 ○丹波市道路整備計画における実施予定路線の早期着手及び完了	
⑤災害に強いまちづくりの推進	○過去の教訓を生かした治山・治水事業の推進、里山・集落等整備の促進 ○住宅や建築物などの耐震化の促進 ○市街地や集落の幅員の狭い道路の拡幅など安全性向上の推進 ○地区防災計画の策定の促進	
⑥丹波市らしい景観の保全・形成	○森林法・農振法・自然公園法等の関連法令や緑条例等の継続運用 ○景観保全に向けた県の景観条例、屋外広告物条例等の適正な運用 ○歴史資源や歴史的まちなみ景観の保全・活用の促進	

<関連施策との連携>

都市計画マスタープランに基づくまちづくりの推進においては、都市計画のみならず、公共交通や地域づくり、農林、環境、産業、観光などの関連する施策とも密な連携を図りながら実施していきます。

<都市計画マスタープランの進捗管理>

土地利用の変化や都市基盤施設の整備などは長期間を要するため、継続的に進捗状況を把握し点検するなど、効率的・効果的な推進に努め、「PDCA サイクル」の考え方に即した進捗管理を行います。



お問い合わせ

丹波市 建設部 都市住宅課 都市計画係

TEL 0795-74-0221 (代表)

FAX 0795-74-1592

〒669-4192

兵庫県丹波市春日町黒井811 丹波市役所春日庁舎

URL <https://www.city.tamba.lg.jp/>